



国際プラザニュース



発行: (公財) 宮崎県国際交流協会 〒880-0805 宮崎市橘通東4-8-1 カリーノ宮崎地下1階
Tel: 0985-32-8457 Fax: 0985-32-8512 ホームページ: <https://www.mif.or.jp/> E-mail: miyainfo@mif.or.jp
開館時間: 10:00~19:00 [火曜~土曜] 休館日: 日曜・月曜・祝日・12月29日~1月3日

宮崎県国際プラザ休館日のお知らせ
2020年3月20日(土)は祝日のためお休みです。

新型コロナウイルス感染の状況によっては、講座の予定変更や中止も考えられます。ご了承ください。
最新の情報は協会ホームページ・Facebook でご確認ください。

外国人のための日本語れんしゅう会



※申込み不要・参加費無料

◇日時: 10:30~11:30

[水曜日] 3/3、3/10、3/17、3/24

[金曜日] 3/5、3/12、3/19、3/26

◇場所: カリーノ宮崎 地下1階

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会 (担当: 川添)

広報紙「サウスウインドvol.98」を発行しました!

(公財) 宮崎県国際交流協会は広報紙サウスウインドを年に2回発行しています。最新号(2021年3月号)の内容は、

- ・特集「第15回世界とトモダチみやざき国際ミニフェスタ」各講座やアートフェスティバル優秀作品の紹介など
- ・第15回外国人住民による日本語スピーチコンテスト
高校生・専門学校の部 最優秀賞 イシ パルドウン ラマさん
「私の日本のママ」※スピーチ原稿掲載
大学・一般の部 最優秀賞 バスカーラン アリワラガンさん
「私と日本」
- ・Hear! Here Voices
～バスカーラン アリワラガンさん(インド出身)～
- ・JICAデスク宮崎「ぼーぺんにゃん」Vol.8
「コロナ禍において私たちがいま出来ること」
- ・宮崎県国際交流協会ニュース
本年度開催した講座の紹介 ・ ・ など盛りだくさんです



ホームページではバックナンバー(vol.88~vol.97)も公開しています。ぜひご覧ください!

※サウスウインドは日本語のみです。

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会 (担当: 淡路)

第15回アートフェスティバル 「外国人が見た宮崎」作品展巡回展

令和2年11月18日から12月5日まで、カリーノ宮崎地下1階で「外国人が見た宮崎」作品展を開催しました。その巡回展が、高鍋で開催されます。ぜひ、ご来場ください。

【高鍋町】

◇日時: 3月6日(土)~3月21日(日) 10:00~17:00

◇場所: 高鍋町美術館

◇問合せ: 高鍋町教育委員会 社会教育課

TEL:0983-23-3326



多文化共生アドバイザー派遣制度

多文化共生社会づくりに関する学校や地域などで行う講座や会合に講師を派遣します。「国際理解講座」や「多文化共生講座」を開催する際はぜひ当制度をご活用ください。

また新しいアドバイザーの登録も募集しています。

◇外国人講師の出身国: 台湾、中国、フィリピン、イギリス、デンマーク、エジプト、ドイツ、アメリカ、ウズベキスタン
(その他の国についてはご相談ください)

◇講座内容: 多文化共生、料理、歴史、楽器、お茶、踊りなど

◇日本人講師の滞在国内: ザンビア

※講座内容: 多文化共生、国際協力、エイズ問題対策など

◇補助内容: 講師の謝金及び旅費は当協会が負担します。

◇問合せ: (公財) 宮崎県国際交流協会 (担当: 織部)



台湾からの現地レポート



新型コロナウイルスの発生から1年。この間日本国外ではどのような対策措置が講じられ、人々はどうか日々を過ごしてきたのでしょうか。今回は台北在住の郭さんに現地からレポートいただきました。

昨年の初めコロナの流行が始まると、薬局やドラッグストアのアルコール消毒液とマスクはあっという間に無くなりました。しかし、政府や民間の努力を得てアルコール消毒液はすぐに足りるようになり、健康保険証を利用した制度によってマスクを貰えるようになりました。

政府はコロナに対して、空港への立ち入り規制、ソーシャルディスタンスの規定や感染確定例の報告や感染者の足跡を毎日発表するなど多くの対策を講じました。その中で私が最も便利だと感じた物は、LINEアカウント「疫管家」です。これは予防に関する情報以外に、毎日午後12時に指揮中心(中央感染症指揮センター)が開く記者会見で発表される当日の感染確定例数及び状況を提供する物で、国民に最新の流行状況がはっきりと伝わるようになっています。予防策の中、初め私が最も慣れなかったことは、MRT(台北を走る電車)やバスなどの公共交通機関でマスクをしなければいけなかったことです。マスクのせいで眼鏡が曇ってしまうからです。しかし次第に、どこへいっても初めにマスクをつけることに慣れていきました。

2020年12月1日からは、8カ所の場所(医療・ケア関連施設、公共交通機関、生活・買い物関連施設、教育学習関連施設、鑑賞・観戦施設、レジャー・娯楽施設、宗教・お祭り関連)でのマスク着用の義務が始まりました。注意を受けても従わなかった場合には、3000台湾元(約1万9000円)以上1万5000台湾元(約5万4700円)以下の罰金が科されます。多くの人が予防に関する規定を遵守していますが、MRTでマスクをすると言われても聞かない人や、帰国後の隔離検疫規定に従わずに公共の至る所を歩く人など、協力しない人もいます。これらの手に負えない例は個人の身勝手な行為だけでなく、自分と他人の安全も守ることができません。

コロナとの戦いは1人1人の努力が必要です。毎日マスクをしていた日々が早く終わり、世界が元の姿に戻ることを願っています。

※郭さんについて: 職員Uの友人の1人。台湾南部屏東県出身で現在は台北の会社に勤めています。

ホームページリニューアルしました **NEW**

協会のホームページの中国語・韓国語のリニューアルが完成しました。ホームページでは協会の活動の様子を紹介しているほか、日本語教室や国際交流、多文化共生についての協会からのお知らせを載せています。また、国際交流や多文化共生に関する皆様からの情報も「交流ひろば」に載せることもできます。英語や中国語、韓国語を学習中の方もぜひ一度当協会の各言語のホームページをのぞいてみてください。

〈みやざき外国人サポートセンターからのお知らせ〉

外国人のための生活相談会in延岡

生活していてわからないこと、困っていることを相談できます。自分の国の言葉で相談できます。

(翻訳機、電話通訳を使うことがあります)。秘密は守ります。

※新型コロナウイルスの状況によってはキャンセルになる場合があります。

◇日時：3月17日(水) 13:30~15:30

◇場所：延岡市岡富コミュニティセンター(Cocoretta 2F)

◇予約：3月13日(土)までにメールかFAXで

①名前 ②連絡先(電話番号) ③相談したいこと ④相談に使う言葉を教えてください。

◇問合せ：みやざき外国人サポートセンター

TEL：0985-41-5901 FAX：0985-41-5902

E-mail：support@mif.or.jp



《JICAデスク宮崎 イベント情報》

オンライン映画上映会&JICA派遣専門家連絡会活動紹介・JICAデスク紹介・座談会

2021年3月13日(土) 13:00~16:00

◇場所：オンライン会議ツールZoom ◇定員：60名(先着順)

◇上映予定映画：①OCCUPY LOVE(86分間)

②都市を耕す(56分間)

☆映画を観ることで、よりよい未来の為に、世界や社会のことについて知り、考える・行動するきっかけにしてみませんか？参加ご希望の方は、下記Eメールにて申し込みを受け付けております。お気軽にお申込み下さい。イベント開催前日までにZoom招待メールを送付させていただきます。

Eメール：jicadpd-desk-miyazakiken@jica.go.jp

(JICAデスク宮崎 担当:田代)

宮崎県国際交流協会の図書

「82年生まれ、キム・ジヨン」



1982年に生まれたキム・ジヨンが主人公であり、彼女の少女時代から結婚、出産に至るまでの人生を通して、韓国のジェンダー意識に関わる現代史や社会問題を織り交ぜながら、女性であるがゆえの困難を本書では描いています。韓国ではベストセラーと成り、映画化にも至りました。この本が話題になってから、韓国社会では変化があったそうです。ネット上での女性に対する差別的な言葉や暴力的な言葉などに対し、抗議の意志を示したり、盗撮などのセクハラについてやめるよう要求したりするなど、一つ一つの問題について女性たちが声をあげていく動きが起きました。本が人を動かし、人が人を動かし、社会を変えていったとも言えますね。日本語の他に英語を含む16カ国語で翻訳され、世界各国で読まれています。プラザには日本語版がありますが、各国の言語でも読むことができるので手に取って下さい。

TRANSIT No.50

～日本の美しき青をめぐる旅～

TRANSITは世界や日本の美しい風景や文化、暮らし、人びとをニュートラルな視点で取り上げてきた旅雑誌です。今回の第50号は日本のナショナルカラーである青をテーマに、北は北海道から南は沖縄まで、日本各地取材した旅の記録を綴っています。

本書は青と関わりのある日本の文化、自然景観、衣食住について美しい写真と文章でそれぞれ語られています。青色の幅広さ、色の名称、日本人は言葉を多く持つものだと改めて感心させられます。

コロナ禍でなかなか旅に出られない今、この本を読むことで疑似的に旅した気分となり、癒されることでしょう。

賛助会員募集！

年会費	法人	10,000円
	個人	2,000円

賛助会員になると・・・

- ・毎月発行している「国際プラザニュース」をお届けします。
- ・年2回発行している広報誌「South Wind」をお届けします。
- ・協会が開催する講座に優先参加できます。
- ・協会が開催する講座の参加費を割引します。

♪プラザニュース 英語版より



県国際交流員
マーシュ グレアム

「やはり最近の曲は、こんな感じではないなあ〜」

Bring me my bow of burning gold, 我が燃える黄金の弓を
Bring me my arrows of desire, 渴望の矢を
Bring me my spear: O clouds unfold, 群雲の槍を
Bring me my chariot of fire! 炎の戦車を 与えよ!



御機嫌いかがでしょうか？今月は少し味が違って、何かイングランドの古い物を紹介したいと思っておりました。(いや、私のことではなく…)。皆様、ウィリアム・ブレイキ氏、19世紀初期の詩、「ジェルサレム」をお聞きになったことがありますでしょうか？実は、「Land of Hope and Glory」などとともに、国際スポーツ大会などでイングランドの国歌として歌われているのです。(実は、アイルランド、ウェールズと違って、イングランドは正式な国歌がありません。イギリスの「God Save the Queen」の方もそういう場面でよく使われています。)その詩は、王家に対する尊敬というより、イングランドの自然の美しさや努力の結果で楽園を作ることなどがテーマですので、立憲君主制度がお好みではない方(そして、面白いことに、ジョージ5世王様)にも大人気になりました。そして、ジェルサレムという詩は、産業革命による自然や人間関係の破壊に対する反対の歌だということも考えられています。まあ、BTSに並ぶものではないかもしれませんが、国、文化、そして人間的な歴史に深く繋がっているところですので、御興味をお持ちの方は是非お調べ下さい。皆様の国の方は、いかがでしょうか？もし何か面白い非公式な国歌のことや、イングランドみたいに国歌のない国について御存じの方、教えてください！是非聞きたいです。